

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有
体育学部	准教授	藤原 敏行		
<b>I 教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				
器械運動 I・II		平成25年4月～ (器械運動IIは平成28年1月まで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルに応じた段階練習法を提供。また、良い見本だけでなく、典型的な失敗例や個々の学生の抱える課題を模倣した実演。</li> <li>・テキストの連続写真をもとに、課題技の動きを描写させることによる運動イメージ習得の促進。</li> <li>・iPadを活用して運動の主観と客観の一致促進。大型ディスプレイに見本演技をループ再生することで、目標とする演技像の鮮明化を促進。</li> <li>・特に実技能力に遅れのある学生に、技の技術や練習法に関して学習を進めるレポート課題の提供。</li> <li>・学生が授業内で撮影した技の実施映像を、Google Classroomを活用して、評価対象とした (令和2年)</li> <li>・身体ほぐしや見本動画を授業用サイトにまとめ、常時閲覧可能とした (令和2年)</li> </ul>	
バイオメカニクス		平成25年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの内容をより身近に感じられるスライドの作成と動画の活用。また、持ち運びの容易な小物 (家庭用体重計や、バットなどの各種スポーツ関連用具) を多く用いて、教室内で簡易的な実験を実演し、理論の理解を深められるようにしている。</li> <li>・eポートフォリオによる学生の理解度チェックと、そこでの質問や疑問に次の講義で復習を兼ねて解説することで内容理解促進。</li> <li>・iPadの解剖学アプリを用いて、3D映像を活用しながら身体構造の理解に役立っている。</li> <li>・学生が自分の身体で筋の位置や関節動作を確認したり、所有するスマホ等で動画再生中にジャンプの滞空時間を計測したりするなど、大人数の講義の中で各個人が積極的に授業に参加できるように工夫している。</li> <li>・テキストにある基本内容に加えて、近年の学会大会で得られたより最新の情報も提供することで、スポーツ科学への興味関心の高まりと、その学習の意欲向上を図っている。</li> <li>・オンライン授業への対応として、教科書を講義的に解説するテキストベースの教材を作成し、動画や関連情報と共に、授業用サイトにまとめた。 (令和2年)</li> </ul>	
英語講読		平成25年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材となる英文の翻訳版も解説に用いて、英語表現と日本語表現の両方から文意を解釈することによって、言語感覚の向上を促進。</li> <li>・常に予習を求める授業方式により、授業時間外での学習活動を促進。</li> <li>・オンライン授業への対応として、課題や解説動画をまとめた授業用サイトを作成。Classroomのストリームを活用し、学生同士の意見交換とディスカッションを促進。 (令和2年)</li> </ul>	
スポーツ教育学演習I・II		平成25年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの科学的側面とコーチングの実践的側面から様々な討論を行い、科学的視点をもった指導者の養成。</li> <li>・ゼミ論文作成を通じた科学的動作分析法の理解促進。</li> </ul>	
スポーツバイオメカニクス特論		平成28年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時限のテーマに沿った学生の予習内容をもとに、主に対話的に授業を展開し、内容理解を深められるようにしている。</li> </ul>	
2 作成した教科書、教材、参考書				
	・スポーツ・バイオメカニクス入門 第4版	令和2年3月	・バイオメカニクスの授業で用いる教科書の改訂	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
	・ OSAKAスポーツ大学2013スポーツ科学コース講師	平成25年11月15日	・体操競技を主題に、ヒトの感覚と運動についての講義。	
	・ 器械運動公開授業研究会講師 (大阪府茨木市立春日丘小学校)	平成25年11月27日	・茨木市の体力向上プロジェクトに関する教員を対象とした器械運動指導の実技および指導法研修。	
	・ OSAKAスポーツ大学2014スポーツ科学コース講師	平成26年12月5日	・ヒトの運動を主観と客観の両視点から捉えて指導について考える講義。	
	・ 高槻スポーツ大学2015講師	平成27年9月30日	・苦手意識を持たせない器械運動指導に関する講義。	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
	・ 教員免許更新講習会「器械運動の授業作り」講師 (大阪体育大学)	平成26年1月12日 平成27年1月11日 平成28年1月10日 平成29年1月8日 令和2年1月12日	・器械運動の教材的価値の確認、授業実践において重要な事項と技術的要素の伝達と情報交換。	
	・ Capital City Gymnastics Club (Alberta, Canada) との国際交流事業	平成25年4月16日～平成25年4月23日	Capital City Gymnastics Club の選手との合同練習、親善試合および指導者との情報交換など。	
	・ 中国における国際交流合宿への学生引率	平成26年9月25日～平成26年10月7日	カナダ、オーストラリア、中国のクラブチームが集い、合同合宿を通じて国際交流活動を行った。	

・体操シンガポール代表選手と本学体操競技部の国際交流事業	平成28年4月22日～平成28年4月26日 平成28年6月6日～平成28年6月24日	体操シンガポール代表選手との合同練習、親善試合および指導者との情報交換など。
・国際スポーツバイオメカニクス学会長Gareth Irwin博士を招聘	平成28年7月14日～平成28年7月17日	Gareth Irwin博士とRoman Farana博士による、体操の科学に関する特別セミナーを開催。
・中国浙江省体育職業技術学院との体操を通じた国際交流事業	平成28年11月20日～平成28年11月26日	中国浙江省代表選手との合同練習および指導者との情報交換など。
・体操オーストラリア代表チームとの国際交流事業	平成28年12月12日～平成28年12月17日	体操オーストラリア代表選手との合同練習および指導者との情報交換など。
・体操上海チームとの国際交流事業	平成30年10月5日～平成30年10月12日	上海体操センターの選手との合同練習および指導者との情報交換など。
・体操の大学対抗戦を新規に企画・運営	平成31年3月21日～平成31年3月23日	天理大学と中京大学と本学の3大学で行う対抗戦を行い、競技力向上と大学間の交流を図った。
・体操の前中国代表チームヘッドコーチ Huang Yubin氏特別招聘事業	平成31年3月14日～平成31年3月17日	Huang Yubin氏による本学関係選手への特別指導および指導者講習会
・国際体操科学フォーラムの開催	令和元年10月19日～令和元年10月20日	国際的に著名な講師を招聘してのシンポジウムおよび本学独自開発システムの公開測定デモンストレーションなど
・浪商中学校50周年企画特別講演	令和元年11月18日	現在の中학생に向けて、卒業生として「一期一会」をテーマに講演

## II 研究活動

### 著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

### 著書（共著・分担執筆）

題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
器械運動の授業作り（大阪体育大学教員免許更新講習テキスト）	池島明子、藤原敏行、他14名	81頁～90頁	大阪体育大学教職支援センター	大阪	平成25年12月
スポーツ・バイオメカニクス入門 第4版	金子公有・藤原敏行		杏林書院	東京	令和2年3月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
Head-toe distance as a simple measure to evaluate amplitude of circles on pommel horse	Toshiyuki Fujihara, Pierre Gervais, Gareth Irwin	Science of Gymnastics Journal	11(2)	189-200	令和元年

### 総説

題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
器械運動・体操競技における補助に関する考察	藤原敏行	大阪体育大学紀要	第45巻	1頁～15頁	平成26年3月
体操競技の跳馬における助走速度とその測定方法	◎藤原敏行、山本詠人、淵本隆文	体育学研究	第62巻	435頁～453頁	平成29年12月
三次元計測に基づくスポーツ研究・応用事例：体操競技の場合	◎藤原敏行	計測と制御	第59巻	715頁～720頁	令和2年10月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
その他	第32回国際スポーツバイオメカニクス学会大会傍聴記	単 藤原敏行	体育の科学	第64巻	737頁～740頁	平成26年10月
その他	Institute for applied training science in Leipzig の視察報告	単 藤原敏行	大阪体育大学紀要	第49巻	1頁～12頁	平成30年3月
その他	体操競技トレーニングにおける映像機器の活用	単 藤原敏行	権	第21号	9頁～19頁	平成31年3月
その他	コロナ禍における強化クラブの取り組み～男子体操競技部～	共 藤原敏行・佐藤寿治	権	第23号	46頁～50頁	令和3年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際	平成25年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Head positions are related to the performance quality of circles on pommel horse.	National Taiwan Normal University, Taipei	藤原敏行
国際	平成26年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Research informing practice: Current issues in gymnastics research "Injury, skill development, elite performer and fundamental movements."	East Tennessee State University, Johnson City.	Irwin, G. Hume, P., Sands, W. & 藤原敏行
国際	平成27年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Toward an ideal performance of circles on pommel horse-centrifugal force and mass-centre velocity-.	University of Poitiers, Poitiers, France.	藤原敏行
研究会	平成28年6月	京都大学体操研究会（洛翔会）	あん馬の両足旋回に関する力学的分析	京都大学	藤原敏行
国際	平成28年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Revisiting run-up velocity in gymnastics vaulting	筑波大学	藤原敏行
国内(一般演題)	平成28年8月	日本体育学会	あん馬の両足旋回の運動質に関する客観的評価項目の模索	大阪体育大学	藤原敏行
国際	平成29年6月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Using a kinect device to evaluate amplitude of horizontal rotation on the pommel horse	German Sports University, Cologne, Germany	藤原敏行

国内(一般演題)	平成30年8月	日本体育学会	つり輪における力技トレーニング支援を目的とした即時フィードバックシステムの開発	徳島大学	藤原敏行
国際	平成30年9月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Ability to maintain amplitude while performing circles on pommel horse	Auckland University of Technology	藤原敏行
国内(一般演題)	令和元年9月	日本体育学会	体操競技の自動採点化に関する考察	慶應義塾大学	藤原敏行
国内(シンポ)	令和元年9月	日本体育学会	体操競技のバイオメカニクス	慶應義塾大学	藤原敏行
国内(他)	令和元年10月	国際体操科学フォーラム	Special Symposium "How to integrate science into practice"	大阪体育大学	藤原敏行、William Sands, Gareth Irwin, Jeff Thomson, Keith Russell, ,佐藤寛朗
国際	令和2年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	Amplitude evaluated with head-toe distance in relation to where circles are performed on pommel horse.	Fukuoka University	藤原敏行

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
科学研究費	若手研究	上肢支持運動における着手術術評価および即時フィードバックシステムの開発	代表	平成31年～令和3年	3,900,000

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成16年11月～	日本体育学会会員(学会発表、論文査読)
平成16年11月～	日本バイオメカニクス学会会員(学会発表)
平成16年11月～	日本体操競技・器械運動学会会員(学会大会参加)
平成21年6月～	国際スポーツバイオメカニクス学会会員(学会発表、論文査読)
平成23年10月～	スポーツパフォーマンス学会会員(論文査読)
社会的活動	
平成26年4月～	関西学生体操連盟顧問
平成31年4月～	全日本学生体操連盟理事
令和3年1月～	日本体操競技・器械運動学会常務理事
令和3年4月～	大阪体操協会審判委員会

### Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成25年4月～	研究委員会(委員)
平成25年4月～平成26年3月, 平成29年4月～	キャリア支援委員会(委員)
平成26年4月～平成27年3月	50周年記念行事委員会(委員)
平成27年4月～平成29年3月	カリキュラム委員会(委員)
平成28年4月～平成29年3月	競技力向上体制検討委員会(委員)
平成28年4月～平成30年3月	大学院広報委員会(委員)
平成28年4月～平成30年3月	外部諸機関との連携事業に対するアクションプラン検討委員会(委員)
平成29年4月～平成30年3月	大学院学生委員会(委員)
平成29年4月～	競技力向上委員会(委員)
平成31年4月～	総合評価制度検討委員会
平成31年4月～	実験室等整備検討委員会
平成31年4月～	キャリア支援委員会(委員)
平成31年4月～	全学国際・地域交流委員会

特別プロジェクト活動			
平成28年4月～		DASHプロジェクト研究「器械体操における競技力の可視化および即時フィードバックシステムの構築」	
<b>V クラブ活動の指導業績</b>			
1. 指導クラブ名	男子体操競技部	2. 役職	2011.9～コーチ、2012.9～監督
3. 部員数	31 人		
4. 現場指導の頻度	① ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数： 3 回	延べ日数： 14 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所
	関西学生体操選手権大会	4月	年によって異なる
	全日本体操種目別選手権トライアル	4月	東京
	西日本学生体操選手権大会	5月	年によって異なる
	全日本学生体操選手権大会	8月	年によって異なる
	関西学生体操新人選手権大会・交流大会	11月	年によって異なる
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)			
開催期間	大会名	成 績	場 所
平成25年4月14日～15日	第55回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合1位、3位、4位 種目別ゆか2位、3位、4位 種目別あん馬1位、2位、3位、4位 種目別つり輪1位、2位、3位 種目別平行棒2位、4位 種目別鉄棒1位、3位、4位	和歌山県立体育館
平成25年11月9日～10日	第45回関西学生体操新人選手権大会	個人総合1位、3位 種目別ゆか1位、2位、3位、4位 種目別あん馬1位、2位、3位、4位 種目別つり輪1位、3位、4位 種目別跳馬3位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位 種目別鉄棒1位、2位、3位	兵庫県立総合体育館
平成26年4月30日～5月1日	第56回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合1位、2位、3位 種目別ゆか1位、2位、3位 種目別あん馬2位、3位 種目別つり輪1位、2位、3位、4位 種目別跳馬3位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位 種目別鉄棒1位、3位	兵庫県立総合体育館
平成26年11月4日～5日	第46回関西学生体操新人選手権大会	個人総合2位、3位、4位 種目別ゆか1位、4位 種目別あん馬2位、3位 種目別つり輪2位、3位 種目別跳馬1位、2位、4位 種目別平行棒1位、4位 種目別鉄棒1位、2位、3位	岡山総合グラウンド 桃太郎アリーナ
平成27年4月18日～19日	第57回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合2位、3位 種目別ゆか1位、3位 種目別あん馬1位、2位、3位 種目別つり輪2位 種目別跳馬2位、3位 種目別平行棒1位、3位 種目別鉄棒1位、2位	広島県立総合体育館
平成27年4月24日～26日	第69回全日本体操個人総合選手権・種目別選手権トライアル	種目別ゆか7位	国立代々木競技場第一体育館
平成27年11月7日～8日	第47回関西学生体操新人選手権大会	個人総合4位 種目別あん馬4位 種目別つり輪1位 種目別平行棒1位 種目別鉄棒4位	兵庫県立総合体育館

平成28年4月23日～24日	第58回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合4位 種目別ゆか1位、2位 種目別あん馬4位 種目別つり輪2位 種目別跳馬1位、3位 種目別平行棒2位、3位、4位 種目別鉄棒2位、4位	姫路市立中央体育館
平成28年11月5日～6日	第48回関西学生体操新人選手権大会	個人総合2位、4位 種目別あん馬2位 種目別つり輪1位、3位 種目別跳馬2位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位 種目別鉄棒2位、4位	兵庫県立総合体育館
平成29年4月22日～23日	第59回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合3位、4位 種目別ゆか3位、4位 種目別あん馬2位 種目別つり輪3位、4位 種目別跳馬2位、3位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位、4位 種目別鉄棒4位	岡山総合グラウンド ジップアリーナ岡山
平成29年11月10日～11日	第49回関西学生体操新人選手権大会	個人総合1位、2位、3位、4位 種目別ゆか1位、2位、3位、4位 種目別あん馬1位、2位、3位、4位 種目別つり輪1位、2位、3位、4位 種目別跳馬1位、2位、3位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位、4位 種目別鉄棒1位、2位、3位、4位	鯖江市総合体育館
平成30年4月22日～23日	第60回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合1位、2位、3位、4位 種目別ゆか1位、2位、4位 種目別あん馬1位、3位、4位 種目別つり輪1位、2位、3位 種目別跳馬1位、2位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位、4位 種目別鉄棒2位、3位、4位	ジェイテクトアリーナ奈良
平成30年8月8日～12日	第72回全日本学生体操選手権大会	2部団体総合1位、 2部団体種目別ゆか2位 2部団体種目別つり輪2位 2部団体種目別跳馬3位 2部団体種目別平行棒3位 2部個人総合、4位、7位 2部個人種目別ゆか2位、5位 2部個人種目別つり輪1位 2部個人種目別跳馬2位 2部個人種目別平行棒3位、6位 2部個人種目別鉄棒4位	ベイコム総合体育館
平成30年11月10日～11日	第50回関西学生体操新人選手権大会	個人総合1位、2位、3位、4位 種目別ゆか2位、4位 種目別あん馬1位、2位、4位 種目別つり輪1位、2位、4位 種目別跳馬1位、2位、3位 種目別平行棒3位、4位 種目別鉄棒1位、3位	兵庫県立総合体育館
平成31年4月18日～19日	第61回関西学生体操選手権大会	団体総合1位、 個人総合1位、2位、3位 種目別ゆか1位、2位、4位 種目別あん馬2位、4位 種目別つり輪1位、2位、3位 種目別跳馬1位、2位、3位、4位 種目別平行棒1位、2位、3位、4位 種目別鉄棒1位、2位、4位	和歌山県立体育館
令和元年8月18日～22日	第73回全日本学生体操選手権大会	種目別跳馬7位	維新大晃アリーナ
令和元年11月26日～27日	第51回関西学生体操新人選手権大会	個人総合2位、3位 種目別ゆか1位 種目別あん馬1位、2位 種目別つり輪3位、4位 種目別跳馬1位 種目別平行棒1位 種目別鉄棒1位、4位	鯖江市総合体育館

令和2年10月21日	第74回全日本学生体操選手権大会	2部団体総合1位 2部個人総合1位、2位、6位 2部個人種目別あん馬1位 2部個人種目別跳馬3位 2部個人種目別平行棒1位、5位 2部個人種目別鉄棒1位、5位	エフビコアリーナ福山
令和2年12月26日～27日	第51回関西学生体操新人選手権大会	個人総合2位、3位、4位 種目別ゆか1位～4位 種目別あん馬2位～4位 種目別つり輪1位、3位、4位 種目別跳馬1位、2位、3位、 種目別平行棒1位、3位、4位 種目別鉄棒2位、3位、4位	鯖江市総合体育館
<b>VI 賞罰（職務に関する賞罰）</b>			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考
平成25年7月	国際スポーツバイオメカニクス学会	New Investigator Award (Oral 2nd place)	